

2024年度福岡県自動車盗難等防止対策協議会定期総会を開催

～自動車盗難および盗難自動車の不正輸出に関する2024年度活動方針を策定～

福岡県自動車盗難等防止対策協議会(会長：川原 芳昭・日本自動車販売協会連合会福岡県支部専務理事)では、7月2日(火)に博多サンヒルズホテルで、2024年度定期総会を開催しました。同協議会は自動車盗難等防止活動自動車盗難等防止活動に取り組み、安全で住みよい地域社会の実現に寄与することを目的として15団体・機関から構成されており、当支部は設立時(2003年度)から事務局を務めています。

当日は、会員13団体の出席のほか、顧問である福岡県警察本部、国土交通省福岡運輸支局および財務省門司税関や参与団体もご臨席をいただきました。

顧問を代表し、福岡県警察本部生活安全部 南島 彰夫 部長からは、「自動車盗難の状況について、平成14年のピーク時と比べると、現在は盗難認知件数が減少しているが、昨年度比では全国・福岡ともに微増している。また、犯罪の手口も高度化・巧妙化しているうえ、組織化かつ計画的に行われたものが目立っている。引き続き注意を払う必要があることを認識いただき本協議会の活動にご尽力いただきますよう、また警察の取り組みにお力添えいただきますよう、お願いします。」とご挨拶をいただきました。

引き続き、当支部から、2023年3月までに起こったCANインベーターによる高級車連続盗難については、2023年6月に福岡県警に容疑者が逮捕されたこと、2023年度は各会員とも自動車盗難の注意喚起を中心に活動が進められていた旨、報告しました。また、各会員の特徴的な取組みを報告の後に、2024年度の活動方針「協議会会員相互の情報交換を促進していくこと」および「自動車盗難等防止行動計画(令和4年12月改定)に基づき各会員が可能な範囲で独自の活動を推進していくこと」を説明し、承認されました。

その後、当支部 山本 周 事務局長が「自動車盗難の現状」をテーマに講演を行い、福岡県の「キーあり」盗難が過半数を超えている実態や、軽トラックも盗難されている実態を報告いたしました。

当支部では、引き続き、本協議会における官民の連携を推進するとともに、会員の皆様と、より効果的な自動車等盗難防止活動に取り組んでいきます。



福岡県自盗協川原会長による開会挨拶



福岡県警南島部長による顧問代表挨拶



当支部山本事務局長による講演



総会の様子